

## 2 Approach Adopted

### 2.1 An action-oriented approach

発表者 博士課程前期1年 寺島芙由(5017006)

2017/4/25

# 発表の範囲 (pp.9-16)

## Approach Adopted

- 2.1.1 General Competences of an individual
  - Knowledge, skills, existential competence, and ability to learn
- 2.1.2 Communicative Language Competence
  - Linguistic, sociolinguistic, and pragmatic competence
- 2.1.3 Language Activities
  - Reception, production, interaction, and mediation
- 2.1.4 Domains
  - Public, persona, educational, and occupational domain
- 2.1.5 Tasks, Strategies and Texts

# 行動中心主義 (Action-Oriented Approach)

- A comprehensive, transparent, coherent frame of reference for language learning, teaching and assessment must relate to **a very general view** of language use and learning
- 広い視野で言語使用や言語学習をとらえる必要がある  
⇒ 行動中心主義 (Action-Oriented Approach)

# 行動中心主義 (Action-Oriented Approach)

- 学習者や言語使用者は、社会的存在 (social agents) であり、
- 自らの能力 (competence) に基づいて方略 (strategies) を用い、
- 様々な種類の課題 (tasks) に取り組む
- 方略によっては、言語活動 (language activity) に取り組む必要が出てくることもある
- 言語活動とは、テキスト (text) の産出や受容を伴う

# 行動中心主義における言語使用

Language use, embracing language learning, comprises the actions performed by persons who as individuals and as social agents develop a range of competences, both general and in particular communicative language competences.



- 言語使用には、言語学習も含まれる
- 言語使用は個人・社会的存在(人)によって遂行される
- 人は一般的能力・コミュニケーション言語能力などの一連の能力を発達させる(2.1.1)

# 行動中心主義における言語使用 (*Cont.*)

They draw on the competences at their disposal in various contexts under various conditions and under various constraints to engage in language activities involving language processes to produce and/or receive texts in relation to themes in specific domains.



- 人々は能力を使用して言語活動に取り組む
- 言語活動は様々な条件や制約のある、コンテキストの中で行われる
- 言語活動は、言語処理を伴う
- 言語処理は、ある領域のテーマに関するテキストの産出／受容のために行われる

# 重要な単語

- *Language activities* (言語活動): 特定の領域において、課題に取り組むために、自身のコミュニケーション言語能力を用いてテキストを処理すること (2.1.3)
- *Context* (コンテキスト): コミュニケーションが行われる状況。個人の内面・外面に関わり、物理的・非物理的状況のどちらもあらず
- *Language process* (言語処理): 言語の生産や産出にかかわる、神経学的、生理的な一連の流れ
- *Text* (テキスト): 特定の領域にかかわる、音声または文字の一連の談話。課題解決において、言語活動の場になる。(2.1.5)
- *Domain* (領域): 個人の社会生活における大まかな活動分野。ここでは、教育、職業、私的、公的の4領域に分けている(2.1.4)

# 行動中心主義における言語使用 (*Cont.*)

[They engage in language activities,] activating those strategies which seem most appropriate for carrying out the tasks to be accomplished.

The monitoring of these actions by the participants leads to the reinforcement or modification of their competences.



- 人々は言語活動に取り組む際、方略を使う
- 方略は、課題を達成するのに最も適切なものが使用される
- こうした一連の活動をモニターすることにより、能力を強化したり修正することができる。



# 重要な単語

- *Strategy* (方略): 課題に対して、個人が目的に応じて選ぶ一連の行動(2.1.5)
- *Task* (課題): 問題解決、義務、目標達成などのために行わなくてはならない、意図的な行動。例: タンスを動かす、本を書く、レストランで注文する、など(2.1.5)

# 言語学習・言語教育において考慮すべき点

- 上記の要素が、言語使用・言語学習に相互に影響し合っている  
⇒ 言語学習・言語教育に関わってくる
- General competences (2.1.1)
- Communicative language competence (2.1.2)
- Language activities (2.1.3)
- Domains (2.1.4)
- Tasks, strategies, and texts (2.1.5)
- Language processes and contexts

## 2.1.1 一般的な能力：①知識 (Knowledge)

- 宣言的知識
- 言語知識に限られない、コミュニケーションに必要な知識
- 体験的な知識 (Empirical) : 日常生活、価値観、宗教的信念等
- 学習による知識 (Academic) : 科学的、技術的知識
- 新しい知識 → × 既存の知識に追加
  - 既存の知識を変更・再構成
- 言語使用・学習と同時に身に付けていく場合もある

## 2.1.1 ②技能 (Skills)

- Skills や know-how
- 手続的知識のこと
- ①宣言的知識との関わり: 練習や経験によって知識が手続化
- ③姿勢・態度との関わり: 技能を得ることで、リラックスした状態へ  
例: 車の運転 ①意識的な動作から、無意識の運転へと変化)  
③集中・自意識の高い状態から、気楽な運転へ
- 言語の学習においても同じことが言える

## 2.1.1 ③ 姿勢・態度 (Existential competence)

- 個人の特徴や、態度、気質など
- 自己像・他人への見方に関わる → 他人と交流する意欲に関わる
- 不変のものではない
- 文化適用・言語使用・学習などによって変化しうる  
→ 態度の育成も教育の目標になりうる

## 2.1.1 ④学習能力 (Ability to learn)

- 知識、技能、姿勢・態度、その他の能力を動員する
- 「他者 (otherness)」を発見する能力や意思を持っていること
- 知識、技能、姿勢・態度と様々な形でかかわっている
  - 姿勢・態度: コミュニケーションに積極的にかかわろうとする / 聴く能力など
  - 知識: ある言語の文法知識 / タブーや食文化に違いがある可能性の認識
  - 技能: 辞書を使える / 図書館で目的を果たせる
- 個人内でも、学習能力は学習対象・コンテキスト・状況などによって異なる

## 2.1.2 コミュニケーション言語能力の種類

1. 言語構造的な能力: 語彙・音韻・統語に関する知識・技能など、言語構造に関する能力
  2. 社会言語的能力: 言語使用における社会文化的条件
  3. 語用論的能力: 言語リソースを機能に応じて使う能力。談話、結束性や一貫性、テキストタイプや形式、皮肉、パロディーの特定などが含まれる
- 上記では、個人の内的な能力を想定しているが、学習によって発展や変化を起こすことができると考えられている

## 2.1.3 言語活動の種類

- 受容 (reception) : 個人での行為に限定。学習に重要
  - 黙読、メディア報道を追う、授業内容を理解する、など
- 産出 (production) : 個人での行為に限定。社会的価値が付与される
  - 口頭のプレゼンテーション、レポート作成など
- インタラクション (interaction) : コミュニケーションの中心。単に受容と産出能力を組み合わせただけではない
- 仲介活動 (mediation) : 直接コミュニケーションができない人々の仲介を行う。
  - 翻訳、通訳、パラフレーズ、要約など



## 2.1.4 領域の種類

- 公的領域 (public domain) : ビジネス、行政体、公共サービス、公共的性格の文化・娯楽的活動、メディア関係など
- 私的領域 (personal domain) : 家族や個人のかかわり
- 職業領域 (occupational domain) : 職業にかかわる活動
- 教育領域 (educational domain) : 機関などで特定の知識や技能を身に着けるために行う学習や訓練

## 2.1.5 課題、方略、テキスト

### 1. 課題解決のために方略を用いる

- 課題: タンスを移動させる
- 方略: 押す、解体して運ぶ、業者に頼む、今日でなくてもよいと諦める

### 2. 選択した方略を用いて課題を行う中で、テキストを用いる

- 解体して運ぶ(方略) → 説明書を読む(テキストを理解する)
- 業者に頼む(方略) → 電話をかける(テキストを産出する)
- 授業の宿題で翻訳を行う(課題) → 翻訳に取り組まない(方略) → 授業での言い訳を考えつく(テキストを産出する)

## 2.1.5 課題、方略、テキスト (*Cont.*)

- 課題の種類
  - 言語的なもの (読書や文書へのコメントなど)
  - 部分的に言語的なもの (料理のためにレシピを読むなど)
  - 言語をほとんど使わずに完了可能なもの (ルーチン化された作業など)
- コミュニケーション方略・学習方略 = 数ある方略の一つ
- コミュニケーション課題・学習課題 = 数ある課題の一つ
- オーセンティックテキスト・学習者のテキスト = テキストのうちの一つ